

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：9月第1週目）

- 1 ムナンガグワ大統領、投資家に優しい鉱業政策を約束
- 2 鉱業セクターへの巨額投資により、5万人の雇用創出
- 3 園芸品部門に成長期待
- 4 鉱業分野、第2四半期で2億米ドルの投資を呼ぶ
- 5 為替公式レートと並行市場レートの差が拡大

1 ムナンガグワ大統領、投資家に優しい鉱業政策を約束

8月31日、ムナンガグワ大統領は、マニカランド州ブヘラ郡にある中国が所有する1億3,000万米ドル相当のMax Mind Sabi Star リチウム工場での稼働開始式典で、投資家に優しい政策を導入することで、引き続き現在の鉱業分野成長の軌道を維持することを約束した。（2日付、デイリーニュース紙）

2 鉱業セクターへの巨額投資により、5万人の雇用創出

鉱業会議所によると、国内鉱業分野への巨額投資により、2022年は同分野において5万人分以上の雇用が創出された。今年末までに、120億米ドルの経済規模に成長することを目指しており、新規投資が雇用創出と同分野の成長に繋がっている。（4日付、ヘラルド紙）

3 園芸セクターに成長期待

園芸産物開発カウンスル（HDC）は、今年、園芸セクターの経済規模が拡大すると述べる。今年に入り、ワング火力発電所7・8号機も稼働しており、灌漑に必要な十分な電力があることや、為替レートの安定が農家の計画を円滑にし、生産量を増加させる。（5日付、ヘラルド紙）

ZimTrade は、2023年7月に、カタールの人口80%が住む首都ドーハにおける市場調査を実施し、園芸セクターにおける輸出先国として、ドバイに次いでカタールも市場参入の視野に入ると述べた。（7日付、フィナンシャル・ガゼット紙）

4 鉱業分野、第2四半期で2億米ドルの投資を呼ぶ

鉱業分野は、2023年第2四半期で、国内外から2億米ドル以上もの新たな投資を呼び込んだ。鉱床区所有者と投資家を繋げるためのジンバブエ投資開発庁（ZIDA）鉱床マッチメイキング・プラットフォームで、チナモ ZIDA 代表は、ジンバブエの鉱業分野における投資機会への需要が急増していることを受け、第2四半期では新たに2億270万米ドル相当の投資額と予測される62のライセンスが発行されたと述べた。（7日付、ヘラルド紙）

5 為替公式レートと並行市場レートの差が拡大

公式レートと並行市場レートの差が、7月の31%から8月は41%に拡大した。2023年上半期の ZWL 価値は急落し、2022年12月と比較して市場における通貨供給量は500%に上った。2022年末時点の為替レートは684ZWL/米ドルであったが、2023年6月末時点では、5,739ZWL/米ドルに上昇している。(8日付、インディペンデント紙)